

1. 実況上の着目点

- ① 非常に強い台風第22号は、青ヶ島の南西にあって勢力を維持して北東進。伊豆諸島周辺では猛烈な風が吹き、猛烈なしけとなっている所がある。また、台風周辺の下層暖湿気の影響で大気の状態が非常に不安定となっており、台風本体の発達した積乱雲の影響で激しい雨を解析している所があり、雷も多数検知している。
- ② オホーツク海には、500hPa 5340～5580mのトラフに対応する低気圧があって発達しながら東北東進している。北日本では気圧の傾きが大きくなっており、強い風～やや強い風が吹き、波が高くしけの所がある。
- ③ 台風第23号が日本の南を北上している。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 台風第22号は、非常に強い勢力で伊豆諸島南部（八丈島～青ヶ島付近）を9日朝にかけて北東進。伊豆諸島では猛烈な風が吹き、海上ではうねりを伴い猛烈なしけとなる。伊豆諸島には暴風と波浪の特別警報を発表している。9日昼前にかけて暴風や高波に最大級に警戒。東日本～西日本では非常に強い風～強い風が吹く所がある。北日本～南西諸島の太平洋側では、10日にかけて台風を波源とするうねりの影響も加わり、波が高くしけや大しけとなる所がある。東日本太平洋側では9日は暴風やうねりを伴った高波に警戒。北日本～西日本は10日にかけて、南西諸島では9日は強風やうねりを伴った高波に注意。伊豆諸島では、台風本体の発達した雨雲の影響で、雷を伴い非常に激しい雨や局地的には猛烈な雨が降り大雨となる所がある。また、9日昼前にかけて線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性がある。伊豆諸島では9日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。台風第22号は、伊豆諸島南部付近を通過した後、10日にかけて日本の東を東北東進し、10日夜までに温帯低気圧に変わる。
- ② 1項②の低気圧は、10日にかけて発達しながらカムチャツカの東に進み、その後、動きが遅くなる。北日本では、低気圧と大陸から張り出す高気圧との間で気圧の傾きが大きいため、9日は強い風が吹き、11日にかけてうねりを伴い波が高くしける所がある。9日は強風に、11日にかけて高波に注意。
- ③ 台風第23号は、日本の南を北西進し、11日は進路を次第に北に変えて南西諸島の東を北上する。南西諸島では10日～11日は台風周辺の下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴い局地的に激しい雨の降る所がある。落雷や突風、短時間強雨に注意。また、南西諸島では10日～11日は台風の影響で風が強まり、波が高くしける所がある。強風やうねりを伴った高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

- 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。
4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時から24時間)：伊豆諸島180mm。② 波浪(明日まで)：伊豆諸島12、関東7、東海・近畿・四国5、その他広い範囲で4～3m。③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。北海道、東日本～西日本、南西諸島で注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

「台風第22号に関する情報（総合情報）」を5時頃に発表予定。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。